

ゆび募金 だより



No.

12

会報 第12号



高砂自動車株式会社

高砂自動車株式会社様は、1961年創立、東京都目黒区を本社とするタクシー会社です。ゆび募金自販機を多数設置していただき、社会貢献に深いご理解を示してくださっている支援企業です。こちらの福祉タクシー事業について、高砂自動車労働組合 柿沼執行委員長と中村書記長にお話を伺いました。

Q. 福祉タクシー事業とは、どのようなものですか？

車椅子を2台までそのまま載せられるリフトつきのワゴン車をタクシーとして稼働させています。

目黒区在住で生活の中で移動が困難な方を対象に、区に申請して登録すると、運賃の4割負担で利用していただくことができますようになります。



Q. どのような経緯で始められたのですか？

高砂労組が地域の障害者の方々と交流を持つ中で、「リフトつきの福祉車両をタクシー並みに利用したい」という要望があることを知りました。

そこで1984年、地元の障害者団体とともに区に申し入れをし、事業として引き受ける用意があることを表明しました。

当初、区はあまり乗り気ではありませんでしたが、働きかけを続ける中で、区の事業として取り入れてもらうことができました。



Q. 民間主導で30年近く続いている事業なのですね。

自治体ではなく民間企業主導だからこそ、利用に制限をつけることなく、自由に利用できるのが利点です。病院はもちろんお買い物など、行き先はどこでも自由です。体が不自由だからと家の中にこもるのではなく、どんどん出かけてほしいと思います。

Q. 乗務員の方々はどのように対応されていますか？

ドライバーは全員が介護職員初任者研修（ホームヘルパー2級）を受けています。乗降の際に体の不自由な方を介助することもあるため、必要な知識と理解を持った上で業務にあたっています。

Q. ゆび募金の寄付先を「日本盲導犬協会」にされています。会社全体として福祉への関心が高いのですね。

通常のタクシーでも、盲導犬を連れた視覚障害のお客様をお乗せすることがあります。盲導犬も「行きたいときに行きたいところへ」をお手伝いするという意味で福祉タクシー事業と繋がる所があり、支援していきたいと思っています。

この福祉タクシー事業は営利を目的としておらず、赤字になることさえありますが、地域貢献・福祉支援事業ということで会社からも理解を得ています。

これからも地域のため、障害者の方々の生活の質の向上ため、続けていきたいと思っています。



目黒区では「萩」が象徴の花であることから、ハギ号と呼ばれています。常時3台がタクシーとして稼働しています。

オーエム通商株式会社

オーエム通商株式会社様は、1981年創立、東京都八王子市を本社とし、総合リサイクル事業を展開されている会社です。企業として、環境・福祉・地域貢献など多角的な視点から社会貢献活動に取り組んでいらっしゃいます。その取り組みについて、CSR推進室の澤様にご紹介いただきました。

弊社は、情報機器・通信機器を中心とした産業廃棄物の収集運搬・中間処理を行っている会社です。限りある資源を守る為に、より高次元なレベルでの3R（リデュース・リユース・リサイクル）に取り組んでいます。

弊社のさまざまな取り組みについて紹介させていただきます。

<雇用促進への取り組み>

①シルバー人材の積極的雇用

製造メーカー等を定年退職した方々が多く、在職時に得た知識も豊富で、その知識を活かし、現在の機器解体も高い技術レベルを有しています。

②障がい者の積極的雇用

現在、法定雇用率の4倍以上の方を雇用しております。得意・不得意を見極めながら、力を発揮できる作業配分とすることで、弊社の貴重な戦力となっています。

<社会的貢献>

①地元支援学校へのサポート

近隣の支援学校の職場見学やインターンシップの受け入れを積極的に行い、生徒達の仕事に対する意識の醸成に貢献しています。

②地域実行支援

CSR活動の一環として東北の小学校での書道教室実施等の実行支援も行っています。



「八王子環境フェスティバル」に出展。家族連れでにぎわいました。

<地域との共生>

オーエム通商は地域との共生を大切にしております。定期的に会社周辺の清掃活動を行い、地域の祭事のお手伝いや地元八王子市で開催される「八王子環境フェスティバル」への出展も毎年継続しております。

社内では、ゆび募金自動販売機の設置により、従業員が気軽に社会貢献活動に参加できるようになり、社会貢献に対する意識も更に高まっています。今後も地域社会、地球に優しい会社として社会貢献ができるようにさまざまな取り組みにチャレンジして参ります。



岩手県盛岡市仁王小学校で行われた書道教室の様子。六年生の卒業制作としてカレンダーを作成しました。

寄付先団体の
活動を知ろう！

特定非営利活動法人 ポジティブ・フロム・ジャパン

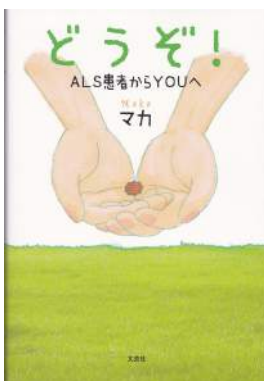


【設立】平成26年 【代表】理事長 大深 譲
【所在地】東京都中央区 【URL】<http://npo-pfj.jp/>

私たちポジティブ・フロム・ジャパンは、「人と社会に、ポジティブの種を届け、命の大切さや、生きる事の喜びを伝える。」を活動理念としています。

活動の一環として、難病患者が綴ったポジティブメッセージ集「どうぞ！ ALS患者からYOUへ」という書籍を寄贈しています。寄贈先は全国の小中学校、児童館、教育委員会、病院、ボランティア団体、地方自治体など、これまで合計302ヶ所に542冊の書籍を寄贈してきました。

今回、設置させていただくこととなったゆび募金の自動販売機には、特に若者に増えている「自殺問題」を取り上げたメッセージを掲載させていただきました。今後は、ゆび募金から頂ける寄付金で、書籍の寄贈活動をますます広範囲に展開していきます。



ストレス、いじめ、災害などで苦しむ方々に書籍を届けることで、自殺を踏みとどまるきっかけになれば。「明日からまた頑張ろう！」と思えるようなポジティブの種を届け、心に笑顔を咲かせることが出来たら。このような想いで、私たちポジティブ・フロム・ジャパンは、書籍の寄贈活動を軸とし、講演活動やイベント活動を行い、人と社会に、ポジティブの種を届け、命の大切さや、生きる事の喜びを伝えていきます。



地域の教育関係者・一般の方等を対象に心のケアの重要性についての講演会を行いました。

84×365=30,660

この数字は、日本で1年間に自殺した人の、過去10年間のデータを平均した数字です。私たちポジティブ・フロム・ジャパンは、難病患者が執筆した書籍の寄贈や、難病患者自らが行う講演、またイベントを通して、命の大切さ、生きることの素晴らしさを伝える活動を行っています。いつかではなく、今、指一本で救える命があります。



ゆび募金 この自動販売機は **ヒルマ薬局** 様のご厚意により、1本購入する度に2円が、NPO法人ポジティブ・フロム・ジャパンへ寄付されます。

POSITIVE FROM JAPAN
<http://npo-pfj.jp/>

ゆび募金自販機に貼られる寄付先パネル。30,660という数字は、日本で1年間に自殺した人の数を示しています。

会員を募集しています！ ジャパン・カインドネス協会では、本会の活動理念に賛同して下さる方を、**会員または賛助会員として募集**しています。詳細は事務局までお問い合わせください。

編集後記 JK協会では、寄付先団体様との連携をより強化し、寄付金の使われ方等を具体的かつ明確にして皆様にご報告していく取り組みを始めます。これにより、今まで以上に透明性の高い信頼していただけるNPO法人を目指してまいります。引き続きよろしくお願いいたします。

最後に、会報作成にあたり、ご多忙の中ご協力を賜りましたロケオーナー様、寄付先団体様に心より御礼申し上げます。

ゆび募金だより 会報第12号

発行日：2015年6月1日

発行：**JK** 特定非営利活動法人ジャパン・カインドネス協会

〒186-0004

東京都国立市中1-18-41 栄ビル301

TEL:042-571-2233 FAX:042-571-2263

E-mail: info@jkkyoukai.com

URL <http://jkkyoukai.com/>